

校長室だより

柏原市立堅上小学校

令和5年度 第2号

令和5年4月28日

【入学式 (4/7)】

晴天の下、堅上小学校に新たな8名のなかまが加わりました。式の前は少し緊張した面持ちでしたね。

式に代表として参加した2年生・6年生も歓迎の気持ちをしっかりと表してくれました。

1年生として初めて小学校の教室に入って担任の先生のお話を聞いたりしているうちに少しずつ緊張も解けた様子。運動場に出てきたときは元気に走る姿も見られました。

勉強に、運動に、遊びにと、どれも元気に頑張ってもらうことを期待しています。



【新入生歓迎会 (4/14)】

新入生が入ってきて、どの学年も1年間の経験を積み上げて学年が上がりました。先生たちで話をしていると、「去年までの甘えたさんが顔つきまで少しお兄さん、お姉さんになったね」という会話が出てくるほど、成長が感じられます。

新入生歓迎会では1年生が舞台上上がり、2年生から6年生まで学年ごとに順番に歓迎のメッセージを伝えました。児童会役員から新入生へのインタビューで「好きなものは何ですか？」の質問に「オレンジジュース」という答えが返ってきたとき、在校生の温かい微笑みがある反応を見たとき、堅上小学校の「良い雰囲気」を感じました。みんな、その優しさを忘れず、成長していきましょう。

その後、全校児童でレクリエーションをして楽しい時間を過ごしました。

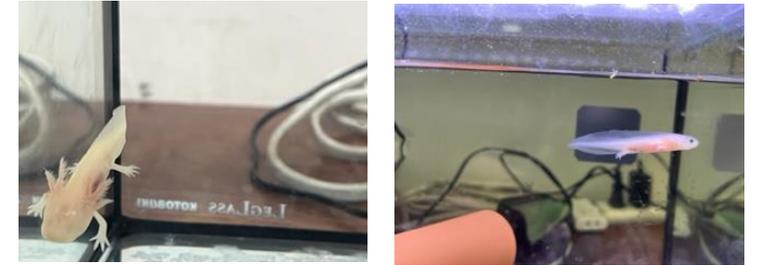


【新しいなかま】

4月の2週目に学校に新しいなかまが増えました。

ウーパールーパーの2匹です。園芸飼育委員が日常のお世話をするとともに名前を付けてくれました。1匹は赤い目で「きなこ」、もう1匹の黒い目の方が「おはぎ」です。水槽のそばを通る多くの児童が水槽に顔を寄せて眺め、観察している風景は微笑ましいです。ここから「未来の科学者」が出てくるかも！

まだ小さくて性別不明ですが、元気に大きく育ちますように!!



【新型コロナウイルス感染症について】

5月8日から新型コロナは5類感染症に移行しますが、新型コロナウイルスはそれとは関係なく進化を続けていきます。日本国内でもオミクロン株のうち感染力が高く免疫から逃れやすいとされる『XBB』系統の占める割合が増えてきており、4月13日に公表された東京都の変異株の割合によると、3月下旬には都内ではXBB系統が50%を超えたことが分かっています。

『XBB』系統が広がっている世界各国・地域において、爆発的に感染者が増えているような状況は観察されておらず、過度に心配する状況ではないだろうと考えられますが、日本は海外と比較するとオミクロン株に感染した人の割合が4割程度と高くないことから、他の国よりも大規模な流行に繋がる可能性は残っています。また、ワクチンや感染でできた免疫が時間とともに下がっていくことや、免疫を回避する新たな変異ウイルスの割合が増えることなどによる影響に注意が必要だと指摘されています。そして、これまでの傾向を踏まえると接触機会が多くなる大型連休が明けたあとで感染が拡大し、いったん減少するものの、再び夏に向けて感染拡大が起きる可能性があると【厚生労働省の専門家会合】で言われています。

各ご家庭におかれても、GWは楽しい外出の機会もあると思います。ご家族の健康状態に気を配り、感染防止の「5つの基本」を意識しながら、楽しい時間をお過ごしください。

